

牛乳にトイレ消臭剤の臭いが移行

スーパーで購入した1L紙パック牛乳を飲もうとしたところ、臭気及び味に違和感を覚えたところ保健所に苦情が持ち込まれました。保健所の食品衛生監視員が数人で臭味検査したところほとんどの人が異臭を感じませんでした。一人だけ飲んだ後にパラゾールの様なにおいを感じました。そこで原因究明のため、当課でパラゾール（パラジクロルベンゼン）の検査を行いました。SPME-GCMSで分析したところ 0.04ppm のパラジクロルベンゼンが検出されました。同時に発酵臭、酸敗臭の原因である乳酸、酢酸についても分析しましたが正常値の範囲でした（0.01%以下）。東京都の苦情事例でもミカンのリモネン臭が牛乳に移行したとの報告があり、油性成分は牛乳の紙パックを通過すると考えられます。本件は購入者がスーパーで同時にトイレ消臭剤を購入し同じポリ袋に入れて持ち帰ったと考えられたので、新しい牛乳で再現実験を行ったところ、牛乳からパラゾールが検出されました。また、ほとんどの人が異臭を感じました。紙パック牛乳には臭気の強いものを近づけないことが大切です。

